



日本歯科大学（新潟病院
医科病院）

Vol.42
2020.5.1

アイヴィ通信

～皆様の口腔と全身の健康を目指して～

就任のご挨拶

新潟病院歯科麻酔・全身管理科
教授

大橋 誠



この度、新潟病院・歯科麻酔・全身管理科の教授に任命されました。

「麻酔専門の歯医者です」と自己紹介すると、患者さんから「痛みを無くすのに更に痛い思いをさせられる」、「痛かったら手を挙げてくださいと言うので手を挙げたら我慢してくださいと言われた」などと訴えられることが多々あります。まことに申し訳なく思います。残念ながら令和になった現在でも「注射器で針を刺す」以上に確実な局所麻酔の方法は存在していません。当科でも安全・確実で痛くない麻酔方法を探求しておりますが、皆様にご提供できるようになるにはまだまだ掛かります。しかしながら「痛み(疼痛)」はそれ自体が大きなストレスの塊であり、呼吸や脈拍・血圧、血糖値といった人間の生理機能に大きな負担を与え、時にショックなど病気を引き起こします。特に、持病をお持ちの方や高齢の患者さんでは、「痛み(疼痛)」が命にかかわるような事態を引き起こしかねないのです。そこで当科ではその名称中に「全身管理」を謳い、単に痛みを取り除くだけではなく、術前・術中・術後を通じ患者さんの全身状態を把握し、歯科治療に付随するあらゆるストレスをコントロールし、安全な治療環境を提供することを目標としております。日々の診療は口腔外科だけでなく他科、場合によっては院外の歯医者とも協力して実施しております。もし麻酔や治療中の痛みに対する不安や疑問がございましたら、主治医を通じてご相談ください。今後ともよろしくお願い致します。





いつもとは違う春を迎えて

●医科病院病院長

大越 章吾



冬の初めのころ中国で新しい肺炎が発生したということが報道で報じられました。なんとなく嫌な予感がしましたが、案の定、その後、武漢を中心とした地域で瞬く間に感染者が増加し、日本にも上陸。丁度この原稿を書いている今日も、東京を中心とした大都市圏で緊急事態宣言が継続されています。報じられる世界の悲惨な状況、日本でも志村さん、岡江さんが亡くなった、戦後最大の危機と称されるような社会の激震が世間を揺るがしています。新潟でも78人(5月4日現在)の感染者が出ており、各病院とも感染対策に懸命になっています。

日本歯科大学でも、患者様が安心して病院を受診できるよう、コロナ感染を食い止めるための対策を全力で行っております。職員には毎朝の検温が義務付けられており、体調不良の人は自宅待機が指示され、必要性のある人は保健所に連絡しております。病棟では、どうしても必要性のあるご家族の面会以外は禁止させていただき、面会が可能な場合でも検温、マスク、手指

消毒をしてから患者様に会っていただきます。更に、4月9日から医科歯科の来院者全員に、受付で体温測定を行っていただくよういたしました(写真1)。患者様やご家族様には何かとご不便をおかけしますが、全てが安全な医療を遂行するためであり、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

幸いなことに、これまでは日本歯科大学では感染者はでておりません。しかし、ウイルスは何分にも見えざる敵であります。どんなに注意しても感染してしまうこともあるでしょう。しかし、もしそうであっても2次感染(他人にうつすこと)がなければ、ウイルスは時間と共に排除されます。

世界や日本で蔓延しているウイルスも、いつかは個々人の努力と治療薬やワクチンの開発によってコントロールされる日がきます。かつて人間が天然痘やペストに打ち勝ったように。



●写真1

さて、お話は一変いたしますが、医科病院ではこの冬、病棟のリニューアルが行われたことをご報告します。数年前に個室病室を改装しましたが、今回はトイレ、洗面所、浴室の全面改装が行われました。

まずトイレは入り口の表示がわかりやすくなりました。少し認知症がある患者さんも迷わないで済むかもしれません。

また、個室は広くなり車いすでの利用も随分楽になりました(写真2)。背もたれがついていますし、ドアはスライド式にしました。洗面台はレバー

で上下可動します。そのため車椅子の方でも高さを調節して利用しやすくなりました(写真3)。洗面所も壁紙を白地に花柄で清潔感もあり綺麗になりました。シャワー付きの洗面台もあります。



●写真2



●写真3



●写真4



浴室も広く、きれいになりました。以前はストレッチャーの向きを変えないと入れませんでした、そのまま入れるようになり、患者様やスタッフ共々楽になりました(写真4)。

コロナ感染のため、公園の桜の下に人影は少なく、今年はお花見もできませんでした。心なしか桜の花も寂しそうに見えました。来年はまた今年と違う新たな気持ちで桜の花を愛でることができるよう頑張って参りましょう。



院内感染防止対策委員からひとこと

●新潟病院
総合診療科

猪子 芳美



先の見えない新型コロナウイルス渦の中、日々、不安な気持ちでお過ごしのことと思います。感染症対策を十分に行い、感染症に立ち向かいましょう。

感染症に打ち勝つためには、衛生行動を徹底し、免疫力を高める必要があります。

その1 衛生行動

①**手洗い**：石けんと流水を用い、こまめに手洗いしましょう。

②**咳エチケット**：くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。マスクやティッシュなどで口を覆いましょう。

③**3つの密を避ける**：喚起の悪い**密閉空間**・大人数があつまる**密集場所**・間近で会話や発声をする**密接場所**、3つの密が揃うと感染のリスクが上がります。3つの密を避けましょう。



その2 免疫力の 向上

①**睡眠時間の確保**：睡眠不足や細切れの睡眠状態が続くと、免疫力が落ちて、感染症にかかり易くなるばかりでなく、治りにくなります。睡眠は十分に取しましょう。

②**栄養バランスの取れた食事**：ごはんなどの「主食」を基本に、肉や魚、卵、大豆などのたんぱく質主体のおかず「主菜」、たっぷりの野菜、きのこ、海藻などの「副菜」、そして「汁物」を組み合わせた食事が理想的です。一日の必要摂取量を意識し、カロリーの取り過ぎは気をつけましょう。決して、スナック菓子や甘いお菓子を食事代わりしないこと。飲み物も無糖にしましょう。アルコールも控えめに。

③**ストレスを溜めない**：ストレスが過度になれば免疫力が下がります。その人その人に合ったストレス解消法を見つけましょう。過食やアルコールでストレス解消することのないように。



一人一人の心がけで、感染症に打ち勝ちましょう。

フレッシュマン自己紹介



●耳鼻咽喉科
倉橋 崇史

出身は愛知県で、新潟大学出身です。軟式野球を続けています。耳鼻科医になって6年目で、前任地は新発田病院でした。色々不便をおかけしますが、よろしくお願いします。



●医科病院看護師
高橋 泉

医科病院看護科の高橋泉と申します。新潟大学を卒業し、看護師1年目の新人として就職しました。今まだ勉強中ですが、患者様に寄り添う看護師を目指して、早く一人前になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



●新潟病院看護師
前田 唯衣

4月から入職致しました、看護師の前田です。病棟の経験がなく、不慣れな事が多いですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



●歯科麻酔・全身管理科
穂保 由衣

今年度、歯科麻酔・全身管理科に入りました穂保由衣です。治療に不安がある方に、安心してもらえ得るように日々勉強してまいります。よろしくお願いします。



●口腔外科
中谷 俊哉

新潟病院口腔外科 中谷と申します。まだまだ未熟者ではありますが日々研鑽し良質な医療を提供できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。上げます。



●口腔外科
菊地 庸佑

今年度より新潟病院口腔外科で学ばせていただくことになりました、菊地庸佑です。自分の目指す歯科医師像に近づけるように日々精進してまいりますのでよろしくお願いします。



●口腔外科
坂詰 博仁

この度口腔外科で学ばせていただくことになりました、坂詰博仁です。自分にできることを精一杯行い、精進します。よろしくお願いします。



●口腔外科
吉田 稜平

この度口腔外科に入局いたしました。吉田です。口腔外科で全身管理など幅広い知識を学びたいと思いますので何卒よろしくお願いします。



●口腔外科
依田 雅貴

新潟病院口腔外科依田雅貴と申します。口腔外科は歯科の中でも全身のことを理解が必要だと思うので精一杯全身のことについて知識と技術を身につけたと思います。



●口腔外科
武内 信親

本年度より口腔外科で学ばせていただくことになりました、武内信親と申します。自分の目標を達成出来るように精一杯日々努力してまいりますのでよろしくお願いします。



●口腔外科
猪子 修平

今年度より口腔外科に入局させていただくことになりました猪子修平です。経験不足で至らないところもございますが、一生懸命努力してまいりますのでよろしくお願いします。



●口腔外科
梁 由美

口腔外科の梁由美と申します。まだ分からないことばかりで仕事を覚えることで精一杯ですが、これから経験、知識、技術を身に着けられるように成長していきたいと思っています。

新潟
病院

臨床研修歯科医師のクラレ



臨床研修歯科医師の1年間



総合診療科

●藤生 桃 ●梁 由美 ●渡辺 有理

私たちは“歯を専門に診る医者さんになる”ために、日本歯科大学で歯について学ぶことにしました。ただ、歯科医師になっても体の病気が治せるわけではないと考えていました。「歯医者は命を守れない医者なのでは？」と歯科大学を選んで入学した私たちでさえ、そんな勘違いをしていました。いえいえ、決してそんな事はありません。お口は体の一部なのです！

お口の役割とは何でしょうか？

食べる・話す・笑う・コミュニケーションをとることにより家族との絆を育む・地域社会と関わる。考えてみるとお口の役割は“多種多様”どころか“生きることのほぼ全て”です。価値観どころか人生観を変えてくれた学生生活でした。

私たちは学生時代の目標だった国家試験に合格しスタートラインに立ったばかりの臨床研修歯科医師です。間違いなく日本中の歯科医師の誰よりも経験は少ないですが、だからこそ大切な『お口』を守るために患者さんに寄り添い、困っていることを改善し、患者さんの信頼を得るために知識と技術を修得していきます。もちろん、いくら努力しても思い通りにいかないこともありました。そのような時は同期の研修医が支えになってくれ、指導医の先生にアドバイスをもらい、励ましてもらい、また時には厳しく指導をしてもらいました。そして何より私たちが一番勇気付けられる言葉は、患者さんからの『ありがとう』でした。その一言は、“次も頑張ろう！もっと上手くなろう！”という意欲を湧かせてくれました。また、指導医の先生方の診療補助は知識と技術の吸収のため大変貴重な経験でした。

『**病**気を治す・怪我を治す・痛みから解放される・おいしく食べる・白い歯で笑う』ことのために日本歯科大学新潟病院には様々な専門知識を持った歯科医が、研修医の指導をされています。

臨床研修歯科医の私たちがこの1年間で得ることができた経験・知識・技術を、これから私たちが会える患者さんのために余すところなく提供できるよう、日々成長していきたいと思えます。

編集
後記

■年明けに中国で新しいウイルスが出たと報じられた時は、インフルエンザ程度なんだったって…と呑気にニュースをみていました。まさか、こんな事態になるとは!!命を守るために、ステイホーム。自由に外食や旅行ができることがいかに幸せで恵まれたことだったか。幸せな時代を生きていたんだなあ…と実感しました。コロナ感染対策を忘れずに、今できる楽しみを見つけて頑張りましょう。



日本歯科大学新潟病院・医科病院

アイヴィ通信



発行日／令和2年5月1日 発行人／山口 晃 大越 章吾
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
TEL 025-267-1500(代) FAX 025-267-1546(支援室直通)